



めいほうだより



2025年

3月号

周南市立徳山小学校

生成AIと学校教育

近年の生成AIの進化はすさまじく、学校教育においても、その利活用が検討されています。現在、開発されている生成AIの多くは、その利用規約で年齢制限が定められており、「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン Ver.2.0」（文部科学省 R6.12.26）では、「年齢制限や保護者の同意の必要性、生成物のライセンスの所在など、生成AIサービスの提供者が定める最新の利用規約を確認し、遵守する必要がある。」とされています。よって、現時点で小学生が生成AIを直接利用することはありませんが、将来、生成AIをツールとして使いこなしていくために必要な資質能力を学校教育の段階で育成することは重要です。

先進校である「生成AIパイロット校」の実践では、生成AIが作成した作品（教師が準備したもの）を子どもたちが吟味し、学習内容の本質に迫る手立てとして活用する事例をよく見かけます。そうした活動をとおして、情報を批判的に考察する力を育てるとともに、より深い意味理解を促したり、思考力を高めたりすることができそうです。また、保護者や地域のみなさまの中で、実際に生成AIを利用された方はイメージできると思うのですが、生成AIに問う際は、具体的な指示を出したりAIと何度もやりとりしたりしながら、求める答えを導かなくてはなりません。そうした利用方法からすると、明確な指示や相手（AI）にわかりやすく伝える言葉の吟味など、普段の授業や学校の教育活動において育てたい資質能力とも重なってきます。徳山小学校が大切にしている「ことばの力」も、生成AIをツールとして使いこなしていくために必要な資質能力と言えるでしょう。

また、生成AIの利活用については、校務においても検討されています。例えば、3年生の理科の授業でモンシロチョウを観察した際、子どもが描いたスケッチを読み取り、昆虫の特徴を踏まえて描いているかをAIが評価することもできるそうです・・・。「教師は必要なくなるのか？」と思ってしまうのですが、こうした使い方は、あくまで補助的なものであって、教師が正確な知識に基づき、コメント・評価すべきです。技術が進化しても、人間対人間の教育であるべきです。

最後に、生成AI（Gemini）で「学校だより」を作成してみました。

春の息吹が感じられる3月となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度も残りわずかとなり、子どもたちの成長を間近に見ることができ、大変感慨深く思います。さて、3月は卒業式、修了式と別れの季節ではありますが、・・・。

やっぱり、味気ないです・・・。何も考えずに使ってはいけません。

校長 原田 剛

地域連携より



今年度も子どもたちの安全を見守っていただきありがとうございました。登下校時の安全の見守り、各学習へのご協力のおかげで、子どもたちが安心して学べる環境をつくることができたこと、心より感謝しております。地域の方々から教えていただいたことや一緒にできたことについて、みんな生き生きと感想を話していました。また、生活科や総合的な学習の時間に関わってもらった経験を通して、さらに学びたいという意欲も高まったように感じました。今後も家庭・地域・学校の連携を深め、子どもたちの安心できる学びの場としてけたら幸いです。たくさんのご協力をありがとうございました。

地域連携担当 北村 佳子

今月の行事



6年部より

日	曜	校内行事
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	6年生を送る会
5	水	岐陽中学校区小中合同学校運営協議会②
6	木	第3回学校保健安全委員会 PTA 奉仕作業 全校5校時下校
7	金	全校5校時下校
8	土	
9	日	
10	月	全校5校時下校
11	火	全校5校時下校
12	水	地区児童会・集団下校
13	木	卒業式予行
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	卒業式前日準備 (5年生は5校時、それ以外は4校時)
19	水	卒業証書授与式 (1～4年生は家庭学習)
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	5校時時程、給食最終日、学級懇談会
26	水	修了式
27	木	学年末休業(～4月7日)
28	金	離任式
29	土	
30	日	
31	月	

6年生
ご卒業おめでとう
ございます！



総合的な学習の時間で『働く大人に学ぶ会』を実施しました。総勢33名の講師の方に来校いただき、職業についてお話していただきました。

働く大人に学ぶ会では、講師の方々が工夫され、子どもたちに分かりやすくお話をしてくださいました。実物を持ってきたり、スライドを見せたり・・・そのおかげで、子どもたちは目を輝かせながら話を聞くことができました。その中から、子どもたちの心に残った言葉をいくつか紹介します。

「好きなことを見つける」「一生懸命すること」「勉強をしておけばよかった」「人のためになることがうれしい」「よい仕事も悪い仕事もない、すべてが素晴らしい仕事」「挑戦し続けることの難しさ」「好きなことをするには嫌いなこともつきもの」

講師の方の思いを聞き、今の自分と重なる部分を見つけたり、大切なことは身近にあることに気付いたりしていました。また一つ、心が成長した場面だったように思います。

もっとすてきな自分へ、なりたい自分へ向かっていけるそんな6年生であってほしいです。

「ホッ！」とライン

～特別支援教育・生徒指導・教育相談便り～⑩

「早く宿題しなさい」など、我が子を思えばこそ、親は口酸っぱく言うものですが、それがどう伝わっているかを確かめておられますか？

ここ10年ほどの間に「愛着障害」という言葉がよく聞かれるようになりました。人口の3割を超え、行動の問題を引き起こす原因の1つとも言われています。

「愛着」とは、「人への信頼をベースに、ポジティブな感情を増やしたりネガティブな感情を解消したりする力」と定義することができます。「愛着障害」と言うと、よく「愛情不足」と思われがちなのですが、実は、愛情深く育てておられるご家庭でも、子どもの中にある心の器の問題で、愛着障害を引き起こすそうです。

どんなに愛情を注いでも、それを受け取る器に穴が開いていたり、フタが閉じていたりすることも。伝えたものが伝わっているか、愛情を受け止めているか、お子様の「愛情の器」をイメージしてみませんか。

地域 Co. 奥田 薫

4月の主な行事

8日(火) 始業式(3校時授業 11:30下校)
9日(水) 入学式、給食開始
11日(金) ことばの教室親の会総会(10:30～)
16日(水) 1年生給食開始、
地区児童会(14:35集団下校)

19日(土) PTA 総会、参観日、学級懇談会

22日(火)・23日(水)・25日(金)

個人懇談(4校時授業)

28日(月) 振替休日

30日(水) 1年生を迎える会(2校時)